

# Q5

大阪府と市が一体だから  
「大阪が成長できる」って？

## A

これまでのベイエリア開発が破たん、  
カジノや巨大開発で新たな「負の遺産」

90年代の「大阪湾ベイエリア開発」をみれば一目瞭然です。府市一体で、関西財界の要望に応じて開発事業を進めた結果、旧WTCビルやATCビル、りんくうゲートタワービルなどの莫大な「負の遺産」が残りました。「二重行政」が原因ではなく、府と市の政策上の失政です。ところが、維新は府市一体で人工島・夢洲での「カジノ・IRこそ成長戦略だ」とゴリ押し。大阪万博を隠れミノに、地下鉄などの延伸、夢舞大橋の拡張、高さ275層55階建ての超高層「夢洲タワー」駅ビルに1千億円など巨大開発計画

が目白押しです。まさにベイエリア開発の二の舞い。新たな「負の遺産」を生み出そうとしています。

### 2024年カジノ開業？



マカオにあるラスベガス・サンズ所有のカジノ施設 (wikipedia「ラスベガス・サンズ運営施設」より)

夢洲



(EXPO2025-OSAKA HPより)

### 2025年万博会場

### これがギャンブル依存症対策のトップランナーの役割なのか？

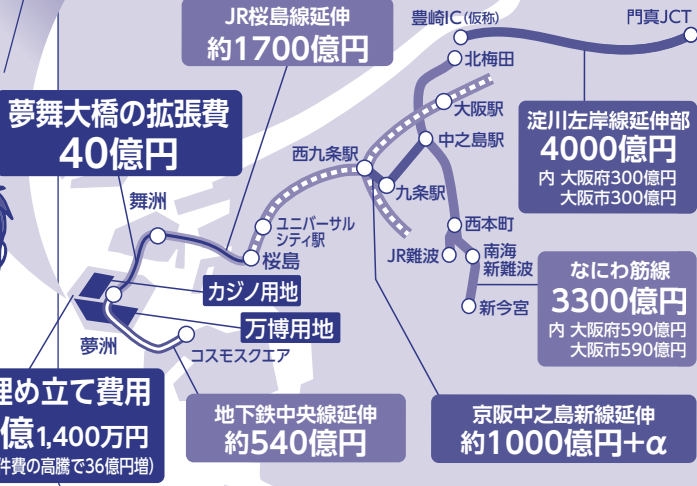


このリーフレットに「ギャンブルは金額と時間の限度を決めて、その範囲内で楽しむ娯楽です」とあります



IR推進局が「ギャンブル等依存症予防リーフレット」を府内高校・支援学校の320校(9万2千人)に配布

どれだけお金を使うんや！



急速埋め立て費用 136億1,400万円 (資材や人件費の高騰で36億円増)